

本号の主な内容

- 2・3面 特集「子どもたちの人間力育成のための施策」ほか
- 4面 「使ってみよう、便利な電子申請サービス」ほか
- 5面 「生ごみ処理機あっせん」ほか
- 6・7面 「ふれあい銭湯事業」「街の話題」ほか
- 8面 「難病医療相談」「メタボリックシンドローム」ほか

人口 440,471人
(男220,993人 女219,478人)
世帯数 204,914世帯
(平成18年6月1日現在)

広報

かつしか

6/15 No.1302
平成18年
2006年

毎月5日・15日・25日発行
☎ 3695-1111

●発行/葛飾区 編集/広報課 〒124-8555 葛飾区立石5-13-1 葛飾区ホームページ <http://www.city.katsushika.lg.jp>

子どもたちの楽しい居場所



区立の全小学校で実施しています

『わくわくチャレ』に
おいでよ!



学校開放型児童健全育成モデル事業「わくわくチャレンジ広場」(わくチャレ)は、放課後や土曜日などに小学校の校庭・体育館などを活用して、子どもたちが安全で、自由に学んだり、遊んだり、スポーツをしたりできる楽しい居場所です。

区では、これらの子どもたちの活動を地域の人たちが支援していく仕組みを作り、地域全体で子どもたちの自主性や、社会性・創造性をはぐくんでいきます。

6月12日の幸田小学校のスタートにより、区立小学校全49校での実施となりました。

◆問い合わせ 育成課 ☎5654-8592 青少年課 ☎5654-8483

わくわくチャレンジ広場では
どんな活動をしているの?
～道上小学校訪問～

子どもたちの声

「週3回くらいくる。毎日くる子もいる。家にもゲームばかりでつまらない。わくチャレはすごく楽しい。」(6年生男子)
「用事(習い事)がない日はほとんど来ている。家で遊ぶより友達がいっぱいいて、とっても楽しい。」(4年生女子)
「土曜日もやっているし、いろんなおもちゃとかあるし、いろんな子も遊べる。体育館でもいっぱい遊べるのがうれしい。」(4年生女子)



児童指導サポーター 椎橋真紀乃さん



平成14年からサポーターとして活動しています。募集の案内を見て、興味をひかれたので参加してみようと思いました。この「わくチャレ」には、1日に80人くらいの子供たちが参加していますので、とてもぎやかです。はじめは遊びを見守るだけでしたが、今は子どもと一緒に物を作ったり、走ったり、まるで年の離れた友達のようにとても楽しいです。もちろん悪いことをしたときにはしかることもありますが、子どもたちも自分で遊び場のルールを決めて活動室に掲示するなど、遊びの中で自然とルールの大切さを学んでいるようです。

最近は昔と違い、地域の人のつながりが少なくなっているといわれますが、私は道で子どもたちから声をかけられるようになりました。「わくチャレ」を通して、地域と学校、家庭が協力して子どもたちを見守っていくことはとても良いことだと思います。

「ただいま!」と行って参加してくる子がいたり、卒業しても顔を出してくれたり「わくチャレ」は子どもたちにとって、学校や家庭以外の楽しい居場所になっていると思います。

わくわくチャレンジ広場に
参加するには

わくわくチャレンジ広場登録申込書に記入し、スポーツ安全保険料500円(年度分)を添えて、各学校の「わくわくチャレンジ広場」メインルームで申し込みをし、保険加入手続き後、参加できます。

登録期間は、登録日から当該年度の3月31日までです。引き続き登録



希望の場合は、年度ごとに再度登録申し込みが必要となります。

参加する日や時間は、ご家庭で自由に決めることができます(入室・退室については出席表により確認します)。

登録申込書は「わくわくチャレンジ広場」メインルームにあります。また、区のホームページからも取り出せます。

地域の方々に見守られて、子どもたちは「わくチャレ」で、のびのびと学び、遊んでいます。